



4



3



2



1



7



6



5



9



8

1_昭和30年頃までつくられていた御殿雛を見つめる親子
 2_出来上りをイメージしてつるす雛を仕分ける作業
 3_一つずつ手作業で繋がれる雛
 4_飾りつけられた色とりどりのつるし雛
 5_精巧にできた道具に興味津々の男の子たち
 6_雛人形に見入る高校生
 7_織田家ゆかりの御所人形と三ツ折人形
 8_丁寧に雛人形を飾りつけ
 9_雛めぐりにぎわう柏原の城下町

3月24日から31日まで、柏原地域の城下町周辺で、かいばら雛めぐりが行われました。たんば黎明館などを含めた12カ所で雛人形を展示。雛人形のほとんどは市内から寄せられたもので、江戸時代から平成のものまで様々です。

柏原藩陣屋跡では、織田家6代目藩主信古の娘、鶴姫愛用の御所人形と三ツ折人形が展示され、訪れた人々を楽しませました。

また、地域のみなさんの手作りの雛人形、つるし雛もエリア内のあちこちに飾られていました。つるし雛は雛人形が高価で買えなかった時代に、わが子の幸

せを願ってつくられたといわれています。「たくさんの方が訪れてくれますように」と、イベント成功の願いがこもったつるし雛たちが会場をにぎやかに盛り上げていました。

かいばら 雛めぐり

